

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 2 3 1

2 0 1 3 年

3 ~ 4 月 号

## 行 事 案 内

### 3 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3 月 10 日 ( 日 ) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前 9 時  
案 内 日に日に暖かさを感じつつも、まだ寒さが残る季節です。冬鳥はそろそろ見納めになってきます。小鳥の囀りが聞こえるかも知れません。のんびりと手賀沼を歩いて、早春の中で水鳥や小鳥たちの繁殖前の姿を楽しみましょう。  
解 散 正午  
担 当 桑森

### 4 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 4 月 14 日 ( 日 ) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前 9 時  
案 内 まだ残っている冬鳥がいるでしょうか。オオジュリンやカムリカイツブリの夏羽に会えればラッキーですね。また、気の早い夏の鳥が来ているかも、よく探してみましょう。  
解 散 正午  
担 当 松田

### 3 月、4 月ピオトープ調査

期 日 3 月 7 日 ( 木 ) 雨天延期  
4 月 4 日 ( 木 ) 雨天延期

集 合 手賀沼ピオトープ 午前 9 時 30 分  
案 内 3、4 月はカモ、ツグミ等冬鳥の絶好の探鳥の季節です。昨年は野鳥を 3 月 21 種、4 月 22 種観察出来ました。この季節の木の花は 3 月サザンカ、4 月レンギョウ、ヒュウガミズキ、ハナカイドウ等咲き始め、クスノキ、ヤナギ、ラクウショウ等の新芽、若葉が出始めます。野の花はホトケノザ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、タンポポ、アリアケスミレ、ツクシ等が見られます。蜜を吸うため花を訪れるモンシロチョウ、モンキチョウ、キタテハ等の蝶、テントウムシ、アマガエル等もみられるようになります。手賀沼周辺の草木の芽吹き・新芽・花を愛でながら探鳥しましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。  
解 散 午前 11 時 30 分  
担 当 鈴木  
Tel: 080 3121 4757

### 銚子カモメ探鳥会

期 日 3 月 3 日 ( 日 ) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前 7 時 30 分  
案 内 銚子漁港は日本有数のカモメ観察ポイントで、3 月になると渡りのカモメが集結し膨大な数になります。カモメの基本 8 種に先ずは出会い、

昨年観察したホイグリンカモメやカナダカモメなど珍しい種にも期待できます。海ガモにカイツブリ類、普段見れないウミウやヒメウなど、昨年は 55 種を観察しています。カモメは換羽の年数により様々な姿を見せるので識別が難しいですが、これを機会にチャレンジしてみましょ。帰り銚子漁港で購入するお魚も楽しみです。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人 1,500 円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)

申込 桑森亮まで  
Tel/Fax: 04 7182 3149

担当 金子(雅)、桑森

---

### 北本自然公園探鳥会

---

期日 3月17日(日) 雨天中止

集合 我孫子駅 午前7時30分

案内 春到来を鳥たちと共に体感できる探鳥会です。渡り前の水鳥やベニマシコ、ルリビタキ、ミヤマホオジロ、番外ながらガビチョウとの出会いも期待できます。

交通 自家用車分乗です。同乗者は運転者に一人 1,500 円をお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能な方は、その旨ご連絡下さい。

持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)

申込 松本勝英まで  
Tel: 04 7187 1704

担当 野口(隆)、松本

---

### 葛西臨海公園探鳥会

---

期日 4月20日(土) 雨天中止

集合 我孫子駅改札口 午前8時

案内 ここ数年春の定例となった葛西臨海公園は、水辺の鳥、山野の鳥の両方が期待できません。東京の満潮 12:24 干潮 7:26 小潮

交通 我孫子駅午前 8:07 発千代田線(代々木上原行)で新松戸乗換え、8:26 発武蔵野線(東京行)で葛西臨海公園駅へ 9:00 着

持物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)

申込 松田幸保まで  
Tel: 04 7182 8307

担当 桑森、松田

### 3月役員会案内

日時 3月10日(日) 13:30~16:30

場所 水の館 3階研修室

議題

定期総会資料の検討

・H24年度事業報告及び決算報告案

・H25年度事業計画及び予算案

新しい事業について

役員改選について

会報 232号掲載記事について

報告事項

関係団体関連報告

その他(議題のある場合は野口隆也までご連絡ください)

---

### 筑波山探鳥会

---

期日 5月3日(金・祭日) 雨天中止

集合 我孫子駅北口 午前7時

案内 880m足らずの山ながら、百名山のひとつに数えられる「筑波山」。その頂きからの眺望は古来より関東人の憧れであり、そして今は鳥見の名所。ここで飛来したばかりのキビタキ、オオルリ、コルリなど夏鳥の美声と姿を求めます。連休で混雑も予想される為裏側から静かな山道

をのんびりと登り、自然研究路を巡るコースで皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転手にお渡し下さい。なお、自家用車を提供可能な方は、その旨を申込時にご連絡下さい。

持物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)  
申込 金子雅幸まで  
Tel: 04 7133 6944  
担当 北原、金子(雅)

## 平成 25 年度定期総会

24年度の活動の成果と反省を総括し、25年度の事業計画等を決める大事な会員総会です。会員の皆様の多数の出席をお待ちしております。

日時 4月14日(日) 13:30~15:30  
場所 水の館 3階研修室  
議題 平成24年度事業報告及び決算報告  
平成25年度事業計画及び予算  
役員改選  
その他

## 行事報告

### 12月手賀沼探鳥会

調査日時 2012.12.9 9:00~12:00  
晴 弱風 気温 18

後半やや風が強まったものの穏やかな晴天で、斜面林の紅葉も美しく映える探鳥日和でした。カモ類の数はやや少なく、カンムリカイツブリが多く見られました。鳥合わせの際に、この季節には珍しいアマツバメが姿を見せ、最後を盛り上げてくれました。

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、アマツバメ、コゲラ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 46 種

### 番外 カワラバト

<探鳥班> 猪爪敏夫、小澤淳宏、北原建郎、常盤孝義、谷山晴男、船津登、桑森亮、塚本眞次郎、相良直己、小坂忠久、村松寿夫、野口隆也、武藤康之、榎本右、六角昭男、落合聡、佐々木隆、古出洋子、石渡成紀、天野睦子、金子幸子、川越久枝、間野吉幸、田中恒雄、松本葉子、松本勝英、肥後邦彦、岩田孝之、田丸喜昭、田丸メリールイス、小林博之、蒲田知子、藤原玉規(担当) 小林寿美子、野口紀子 参加者 35 名

### <カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2012.12.9 9:20~12:15  
曇り 弱風 気温 18

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	4	0	4
カンムリカイツブリ	35	18	53
カワウ	42	83	125
ゴイサギ	1	0	1
ダイサギ	2	3	5
コサギ	0	1	1
アオサギ	8	2	10

コブハクチョウ	9	5	14
マガモ	0	38	38
カルガモ	29	10	39
コガモ	14	55	69
オカヨシガモ	33	0	33
ヒトリガモ	2	0	2
オナガガモ	1	3	4
ミコアイサ	2	1	3
オバン	10	10	20
タゲリ	0	12	12
ユリカモ	51	2	53
合計	243	243	486

<ピオトープ班> 谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸、蒲田知子、池田日出男

調査日時 2012.12.6 9:30~11:23

快晴 強風 弱風 気温 20-21

強風のため沼の水面は白く波立つ。斜面林は紅葉、黄葉。ピオトープは雑草に覆われる。冬鳥が加わり 24 種の野鳥を観察。上空でノスリにモビングするカラスが見られた。

<認めた鳥> カワウ、ダイサギ、コサギ、カルガモ、コガモ、ミサゴ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計 24 種

## 1 月手賀沼探鳥会

調査日時 2013.1.13 9:00~12:00

晴 風弱 気温 11

今年最初の定例探鳥会、お正月にふさわしく風も弱く穏かな日和でした。探鳥会はじめの報告事項中に、マヒワの群れが出現し大いに盛り上がりました。結局 43 種の鳥と出会え、幸先良いスタートとなりました。

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ノスリ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロ

カモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、マヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

計 43 種

<探鳥班> 肥後邦彦、野口隆也、六角昭男、小澤淳宏、田中恒雄、榎本右、谷山晴男、佐々木隆、浅野利幸、川越久枝、金子幸子、武藤康之、相良直己、鈴木紀臣、鈴木皓太、村瀬和則、間野吉幸、類地佑子、落合聡、小玉文夫、猪爪敏夫、常盤孝義、田丸喜昭、松田幸保、小林博之、船津登、桑森亮、佐藤弘美、石渡成紀(担当)北原建郎 参加者 30 名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2013.1.13 9:05~11:50

晴れ 無風 気温 6

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	15	12	27
カンムリカイツブリ	3	2	5
カワウ	8	7	15
カワウ	4	11	15
コサギ	1	0	1
ダイサギ	1	1	2
コサギ	1	5	6
アオサギ	7	1	8
コブハクチョウ	21	10	31
マガモ	2	93	95
カルガモ	74	12	86
コガモ	499	54	553
オカヨシガモ	25	0	25
オナガガモ	0	41	41
ホシバシ	0	2	2
ミコアイサ	1	9	10
バン	2	0	2
オバン	33	40	73
ユリカモ	13	3	16
アサギ	0	5	5
合計	710	308	1,018

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、金子雅幸  
調査日時 2013.1.10 9:30~11:20

快晴 無風 中位の風 気温 9-13

沼の水面は静か、周りの落葉樹の葉は落ち冬景色、道の両側草刈りあり。ピオトープの取水池に水が引き込まれ始める。ピオトープ内のクズ、セイタカアワダチソウ等が枯れ、倒れているため、見通しが良くなる。カモ類は少なかったが、小鳥の種類が多く、アリスイが木の枝にとまるのも観察された。25種の野鳥を観察。

<認めた鳥> カワウ、コサギ、カルガモ、コガモ、キジ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、アリスイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、セッカ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス 計 25種

---

---

## 涸沼探鳥会

12月24日

---

---

### 約 50 有余年ぶりに涸沼を訪れて

相良直己

私は中学 2 年から高校 2 年の 4 年間、父の転勤によって水戸で過ごした。そんな中学生のある日、父の職場の人が涸沼にハゼ釣りに連れて行ってくれた。初めての釣り体験にもかかわらず大きなハゼが沢山釣れ、その日の夕食はハゼの天麩羅であったことを覚えている。季節が何時だったのか、涸沼の位置も、その時に涸沼のどこのポイントで釣りをしたのか、どうやって涸沼まで行ったのかさえ覚えていない。ただ、覚えているのは、沢山の大型ハゼを、初めての釣り体験で持って帰った成功体験のみである。今回も、今まで見たことのない、初めての鳥たちに数多く巡り合えるかも知れない。

約 50 有余年ぶりの涸沼ということで、今回も遠足前日の小学生のように前日から期待感一杯、大はしゃぎ。Web を“涸沼”と“野鳥”をキーワードに探索。Web には、地元愛好者の皆さんからの鳥便りが一杯。“えー！毎年決まって 1 羽オオワシが飛来するんだ・・・”。オオハクチョウ、コハクチョウ、ホオジロガモ、カワアイサ、マガン、ヒシクイ・・・手賀沼周辺では殆ど見るこ

とのない鳥情報。期待がいやまし、興奮の一夜であった。

まだ明けきれない薄暗い早朝自宅を出て、集合場所の我孫子駅北口に向かった。前日までの、肌寒い薄曇りの冬空と打って変わって、集合時間には抜けるような雲一つない快晴。予想していたほど寒くもない。これは幸先よいぞ！今日はきっと成果のある探鳥会になる。ますます期待が高まる。

今回の探鳥会は車 5 台に分乗、現地で柴本夫妻も参加され、参加 22 名。私は、田丸さんご夫妻の車に吉田さんと同乗。まだ当会に入ってから 2 年目の新参者の私にとって、40 年の歴史ある当会の昔のお話や、海外での探鳥経験等を、会員歴 30 年の田丸大先輩から車中でお聴きするのも大変楽しいひとときである。

この涸沼探鳥会のルートは茨城の野鳥の会でも活躍されている田丸さんが開発されたコースとのこと。今回も田丸さんの車が先導車で水先案内人である。

いよいよ涸沼へ到着。まず弁天鼻網掛公園の駐車場へ。駐車する前に田丸さんより『駐車場の前の田圃にはタゲリやタシギが良くいますよ』とのこと。一番乗りの車から降り、早速、田圃を見るとタゲリ発見。2 羽のタゲリが餌をついばんでいる。私が今回の探鳥会での鳥見一番乗り。これは幸先が良いぞ。

堤防に上がり、沼を見る。堤防の上は風がある。さすがに寒い。手がかじかむ。間近にいるのはコガモ、カルガモ、キンクロハジロ、アオサギなど馴染みの鳥のみ。震災後の堤防の復旧工事の関係か、カモ類は対岸の方に多く、対岸までは遠い。そう、涸沼は約 10km<sup>2</sup>もある大きな沼なのだ。私が前に来た 50 有余年前は干拓前でもっと広く、もっと多くの水鳥が飛来していたのかも知れない

皆が空を見上げる、大型のタカだ。事前の Web 探索でも、直前にチュウヒ、ノスリ、ミサゴ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、コチョウゲンボウなどの記録が・・・オオワシは無理としても、今日も沢山の猛禽を見ることができるかも知れない。

弁天鼻網掛公園から“いこいの村涸沼”に向かう。途中で道を間違え、涸沼湖岸の堤防へ。近くでカムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリなどが盛んに潜って

採食している。私はアイサ類が好きだ。特にカワアイサを見たいと思う。田丸さんがカワアイサが見えるかもしれないよと励ましてくれた。残念ながら今日は見る事ができなかった。猛禽が次々と空を舞う。いよいよ猛禽のショータイムだ。しばらく探鳥を楽しむ。

そして目的の“いこいの村涸沼”へ。駐車場場で昼食。昼食後、施設の売店で家族への土産を購入。

再び車で出発、田丸さんご昵懇の蜆店へ。予約してあった涸沼名産の蜆を購入する。一粒一粒が大きい。ズッシリ重たい。明日からの味噌汁が楽しみだ。

そして、再度“いこいの村涸沼”に戻り、涸沼とお別れ。霞ヶ浦に向かう。

常磐線高浜駅前トイレ休憩後、愛郷橋近くの霞ヶ浦堤防へ。眼下にカモの群れ。マガモ、ヨシガモ、カルガモ、スズガモ、ヒドリガモなどが多い。コブハクチョウも飛んできた。小玉さんがガンを発見。3羽いる。あのガンは何だ。肉眼でも見える。図鑑を片手に大騒ぎ。私にとって、初めてマガンを見ることができた。

いよいよ帰路に就く。常磐道の矢田部東PAで鳥合わせ。今日の成果は52種。

私にとっては、当会入会后、車分乗での遠出探鳥会は2回目であるが、先達の皆様から様々な興味深いお話を聴き、マガン、ホオジロガモ、など初見の鳥に会え、タゲリ、ノスリなど写真も撮影でき、大変満足できた探鳥会であった。これこそ個人では味わえぬ探鳥会の醍醐味である。

50有余年前の涸沼は、ハゼ釣りの釣果のみしか記憶にないが、今回の探鳥会は私の記憶に残る涸沼となった。

【幹事報告】探鳥会では、水鳥を中心に52種の多くの鳥が認められました。涸沼では、ホオジロガモ、霞ヶ浦では、ヨシガモが、定番として観察されました。また、涸沼西部では、シロカモメ1羽、霞ヶ浦では、マガン3羽が、スペシャルとして見られました。さらに、いこいの村涸沼では、軽トラックのバックミラーをつつくアカハラ姿が見られました。2012年最後の探鳥会とのことで、間野会長よりあいさつがありました。

<認めた鳥>カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガン、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、キジ、バン、オオバン、タゲリ、セグロカモメ、シロカモメ、キジバト、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス  
計52種

<参加者>田丸喜昭、田丸メリールイス、吉田隆行、相良直己、間野吉幸、中野久夫、猪爪敏夫、松本勝英、松本葉子、大久保隆夫、鈴木静治、小玉文夫、小玉信子、井上正、桑森亮、佐々木隆、山本貞江、小林秀美、柴本三弘、柴本法子（幹事）北原建郎、船津登 参加者22名

---

## 小見川・神之池・江戸崎探鳥会

1月3日

---

### ナポレオンハットの緑色が鮮やかに輝く

鈴木幸子

今年のお正月は穏やかな日が続き、今日もそうあってほしいと思っていたが、今朝は特に冷え込んでいましたので、気を引き締めて参加しました。筑波山はくっきりと映え、利根川に沿って走る。空は広く、明るい。

最初の小見川に到着。早速、田んぼからタゲリの大群が舞っていました。「何かいる」との声で、プロミナーの方角を双眼鏡を覗くと杭にミサゴが強そうな顔で止まっていました。葦原は広い、低く、チュウヒが舞う。飛ぶ姿はV字形との事。ノスリは高く飛んでいる。反対側は水路だ。上空にミサゴが魚を掴んで飛んでいる。青空に魚が白く大きい、どこまでもぶら下げて。とても良い場所、のびのびする。又、何か飛んでいる。「チュウ

ヒかな?」「ノスリだ」との声。時々トビ、カワウ、カモメも通りすぎる。寒さを忘れ、双眼鏡を覗く。時間が来てしまった。

二番目の神之池へと車で移動。ここのポイントは水鳥。「マガモかな?」「合鴨よ」丸々として大きい。近くにヨシガモがペアとなって群れている。ナポレオンハットの緑色が鮮やかに輝く。一羽のヒドリカモは顔を埋めて浮寝鳥。オナガガモ、キンクロハジロ等カモたちは羽を休ませている。

もうひとつのポイントに車で移動。居ました、ミコアイサのペアの群れが大きな流れとなっている、ユリカモメも入っている。雄はパンダのようで、すっきりとした姿、雌は頭上から後頭にかけて綺麗な赤茶でほほは真っ白で日に当たって綺麗!

少し、離れてユリカモメより大きい二羽のカモメが私は気になっていました。くちばしは黄色なのですが、足が何色か? 飛ぶのを待っていました。少したつと飛んでくれました。小さいほうは黄色、大きいほうはピンクでした。カモメとセグロカモメだと教えていただきました。カモメも種類が多いのだなあ。

そして車で浮島の駐車場へ。観察舎を背に陽だまりに並んで昼食となりました。暖かい。お食事しながらも目は葦原を眺め、動くものを探す。小鳥が高く飛んでは葦原に降りる。群れて飛んではまた落ちる。

そろそろ最後の江戸崎へ、車で移動する。前はオオヒシクイが沢山いましたが、今回は一羽もいませんでした。タゲリが一枚の耕された田んぼに群れていました。時々、一羽が飛ぶと皆、ふわふわと羽ばたき綺麗。土手に上がって小野川にはオオバンが群れていました。川風は冷たい。

午後の冬日は傾くのが早い。鳥合せの場所に車で移動。最後にハシビロガモが暖かな場所に、カワセミは小流れの杭に。寒そうな日影に背を丸めて。

幹事さん皆さんお世話様になりました。お蔭様で楽しい鳥見をさせていただきました。又、参加したいとおもいます。ありがとうございました。

#### 【幹事報告】

オオヒシクイは留守だった

小見川の利根川堤防でタカ類を観察した後、神之池へ向かう途中で二度目のコンビニ

立ち寄りとなった。最初のコンビニで満足のいく昼食を購入できなかった為であるが、冷えた人にはめぐみの休憩だったようだ。神之池では、いつもは遠くにいるヨシガモが近くにおり、その美しさが印象的だった。もちろんミコアイサも。

江戸崎では、82羽いるはずのオオヒシクイが、なんと留守だった。風揚げをされたために、飛んでしまったらしい。代わりにタゲリとコチョウゲンボウの飛翔が慰めてはくれたが。

冷たい風を避け、公園の建物の陰で鳥合せをして解散した。

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、コチョウゲンボウ、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、カモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、メジロ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス計 43種 番外 カワラバト、アヒル、シナガチョウ

<参加者> 小玉文夫、中根忠、中根洋子、間野吉幸、松本勝英、松本葉子、丸嶋紀夫、大久保陸夫、猪爪敏夫、肥後邦彦、古賀嗣朗、船津登、相良直己、鈴木幸子、中野久夫（幹事）桑森亮、松田幸保 参加者 17名

---

### 井頭公園探鳥会

2月3日

---

#### 井頭公園探鳥会に参加して

小林美智子

私は何年か前に我孫子の広報を見て、野鳥の会に主人を誘って参加しました。鳥の興味は何回かの主人の転勤で、例えば函館でみたキレンジャク、ヒレンジャク。又奈良では庭先にエナガの群れ、奈良公園ではヒガラを見ました。今現在住居の青山台に移っても庭先にメジロ、シジュウカラ、ジョウビタキなど、

また春先のウグイス、コゲラを見て主人を誘い参加しました。

私は25年位前から関節リュウマチを患い、自分の好きな事を前向きに挑戦したいと思いました。入会して今では主人の方が私より熱心にウォーキングには必ず双眼鏡を持って行きます。昨年も井頭公園探鳥会に参加しましたが、天候に恵まれシロハラが私たちを迎えてくれました。確か40種類の野鳥を観察したのを覚えています。今回も晴天に恵まれ、28名の参加があり、私はB班に入り色々の野鳥を観察することが出来ました。ルリビタキ、キクイタダキ、ビンズイ等と出会いました。特にシロハラは何回も虫を啄ばんでいる姿を見ることが出来ました。ベニマシコも近くを旋回し鮮やかなピンク色に感動しました。またミヤマホオジロは歩道の目の前でじっくり見ることが出来ました。

昼食は木道に座り鳥を見ながらあわだたく食事をしました。私は水鳥はなかなか覚えられず、今回のトモエガモは忘れません。今回も40種類以上の野鳥を見られ、参加して本当によかったと思いました。帰りのバスの中では、私は後ろのサロン席に座り、皆さんはリラックスしてお酒をのんで雑談に花を咲かせていました。本当は私も飲みたかったのですが？飲み会には是非声をかけてください。

4時間余りの散策でしたが、充実した一日を送ることが出来ましたのも皆様のお陰です。有難うございました。元気で動けるうちは出来るだけ会の探鳥会に参加したいと思います。

### 【幹事報告】

快晴、無風、暖かく絶好の探鳥日和でした。こんな日はめったに無いので出る鳥に期待が弾みました。しかし公園の上のグラウンドで子ども達のサッカー大会が開かれており、かなり騒がしく、又天気が良かったので、公園を散策する人が多く、探鳥の環境は最高とはいえませんでした。しかし、43種も出てくれて、参加者は楽しんでくれたようでした。  
<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、トビ、ノスリ、オオバン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、キクイタダキ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス  
合計 43種

<参加者> 野口隆也、間野吉幸、吉田隆行、桑森亮、松本勝英、松本葉子、中野久夫、弘美さと子、金子幸子、川越久枝、武藤康之、小林博之、小林美智子、木村稔、猪爪敏夫、小澤淳宏、蒲田知子、池田日出男、大久保隆夫、井上正、船津登、鈴木幸子、小山雄司、浅野利幸、田丸喜昭、田丸メリールイス(幹事) 小林寿美子、染谷迪夫 参加者 28名

## 第30回芋煮会&探鳥会

これが伝統の力...か 前日の雨が嘘の様に

12月16日、快晴で暑い位の日差しの中連続30回目の芋煮会が開催された。今回は少しでも一緒にお酒を楽しめる様にと、車ではなく探鳥会を行いながら会場に集合する形とし、東我孫子駅前に22名が集った。谷津田では例年になく多い冬鳥が短時間の内にも参加者を楽しませてくれ、アカゲラ、シメ、アオジや一部の方にはウソ、ベニマシコも見られるなど、計26種の鳥を観察しながら会場へ合流した。

芋煮会は52名が参加。各奉行役を買って出てくれた方々の一生懸命な準備・料理のお陰



で、大変美味しい焼肉・焼鳥・焼きそば・芋煮などが用意され、食べながら飲みながらの歓談はあちらこちらで大いに進み、用意された物の全てがあっという間に完食となる状況。今年こそはと挑戦した焼き芋は半分程度の成功率で、食べられなかった人が出るなど宿題は残った。会恒例の競売も、今年は売る(残った)物が無い...と中止となり、約3時間の芋煮会を盛大の内に閉幕した。

<参加者>天野睦子、井上正、猪爪敏夫、池田日出男、岩田孝之、岩田マキエ、石川綾夏、大久保陸夫、金子幸子、川越久枝、金子雅幸、金子智恵子、蒲田知子、木村稔、北原建郎、桑森亮、小坂忠久、小玉文夫、小玉信子、小林博之、小林美智子、小林秀美、小林寿美子、古出洋子、相良直己、相良純子、佐々木隆、島崎純造、首藤佑吉、鈴木静治、染谷迪夫、田中功、田中恒雄、中根忠、西嶋昭生、野口隆也、野口紀子、野口紀恵、橋本清、橋本了次、船津登、平野健介、平野泰子&琴音、朱音、涼音、杏音、間野吉幸、松田幸保、松本勝英、松本葉子、類地佑子、六角昭男 参加者 53名

<認めた鳥>ダイサギ、アオサギ、ノスリ、カワセミ、アカゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、ベニマシコ、ウソ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計 26種 番外 カワラバト (金子雅幸)

## 市民手賀沼探鳥会 報告

1月27日(日)、水の館から手賀沼遊歩道を通して滝下広場まで往復。

当探鳥会は我孫子市環境レンジャーと当会共催で、一般市民を対象に探鳥の楽しさや野鳥への理解を深めること事を目的に毎年開催している。

今回は一般参加が少なかったために班分けはせずに参加者に対して、マンツーマンの形で案内しました。観察を始めて直ぐに、珍しいコイカルを桜の木に見つけ、幸先の良いスタートと成りました。その後の探鳥で、冬には珍しいヒクイナ、あまり見かけないアリスイなど観察が出来、大いに参加者も案内の我々も楽しみました。

<認めた鳥>カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、バン、オオバン、ヒクイナ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、アリスイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキツグミ、ウグイス、ヤマガラ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、コイカル、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス 計 39種

<参加者>一般参加者 12名、当会と環境レンジャー14名 (染谷迪夫)

## 第2回手賀沼ふれあい清掃 報告

12月2日(日)「一人ひとりの力でもっときれいな手賀沼に」をスローガンに、手賀沼に関わる全ての団体が年一度清掃活動を行う統一クリーンデー。

当会は手賀沼公園から根戸新田までの区域を担当、全員が、市が用意した長靴に履き替えて沼側歩道下に降りたが、歩道にはほとんど無いゴミも歩道下はかなりのゴミの山。しかも前日の雨で足場が悪い中で、約1時間のゴミ拾い作業を行った。

<参加者>猪爪敏夫、桑森亮、坂巻宗男、野口隆也、間野吉幸、金子雅幸 参加者7名  
(金子雅幸)

## 我孫子市民フェスタ2012 報告

12月1日(土)、2日(日)の2日間、我孫子市民フェスタ2012がアビスタのほか手賀沼公園で開催され、松戸市や柏市など近隣地域を含め多数の来場者で賑わいました(事務局発表による来場者数は5,400名(アンケート用紙回収による))。

当会は毎年環境分科会の中の1団体として参加しています。会員のカメラによる手賀沼周

辺の身近な野鳥約 40 種類を選び、彼らの美しい映像をそれぞれの音声と同期させながら 26 インチの TV モニター上に大きさ、色、食性などの特徴とともに紹介しました。当会では初めての試みです。来場者はさながら音の出る一冊の大図鑑を楽しんでいるようでした。「身近な野鳥の名前がやっと確認できた！」という声も多く聞かれました。パネルでは、年間を通じてそれらの鳥が見られる場所と、会の活動内容を展示しました。ぬりえコーナーでは色鉛筆を走らせる子供達で賑わいました。

(田中恒雄, 蒲田知子)

## 寄稿

### 手賀沼に雁がいた頃

鈴木静治

私が雁に興味を持ったのは、次のような事からです。2006 年 5 月 4 日連休中の風の強い日、家族で草餅の材料の蓬の若葉を採りに手賀川にかかる浅間橋近くに行った折、橋下の中州近くにカナダガンらしい鳥 1 羽が風を避けて川に浮かんでいるのを見たのです。たまたまカメラを持っていたので、撮影し家に帰り図鑑を見てみますとカナダガンではないようです。2005 年当時手賀沼に 3 羽のカナダガンがいましたのでてっきりカナダガンと思ったのです。ヒシクイのようです。田中功さんに写真を送り見て頂きますとヒシクイの亜種オオヒシクイとのことでした。5 月の今頃、手賀川にいるのはおかしい、怪我でもしているのではと、心配し、翌日の早朝、田中さんと浅間橋周辺を探しましたが姿がありませんでした。なお後で調べてみると、2001 年 5 月 3-4 日印旛村で、5 月 8 日茨城県東村でも観察された記録(時田賢一さん調査)がありましたので、いても不思議ではないようです。

その後 2008 年 11 月福島潟、2009-2010 年 11 月稲敷市江戸崎、2010-2012 年 11-12 月伊豆沼・蕪栗沼、2012 年 11 月片野鴨池でマガン、ヒシクイ、オオヒシクイ、カリガネ、シジュウカラガン等を観察する機会があり、更に上野動物園で飼育している上記のガン以外のハクガン、サカツラガン、ミカドガン等を見て雁も少し分かるようになりました。

ところで、2012 年 12 月 24 日、本会の沼沼探鳥会の帰路に寄った霞ヶ浦の高浜湖畔でヨシガモの中に 3 羽のマガンが見られたことから、伊豆沼より南にも来ていることに驚き、手賀沼、東京湾にも雁がいつ頃来ていたのか調べてみようと思い、手始めに塚本洋三さんの「東京湾にガンがいた頃(2006 年文一総合出版)」を読んでみると第 2 次大戦直後まで東京湾の新浜(現在の浦安市)でマガン、ハクガン、シジュウカラガン、サカツラガンの群れが観察されたことが書かれています。また杉森文夫さんの「東葛飾地域の共同狩猟地(2009 年手賀沼学会)」には明治時代に手賀沼でマガン、ハクガン、ヒシクイ、サカツラガンが見られたことが書かれています。

本会刊行の「手賀沼の鳥(2004 年)」、「手賀沼の鳥(2012 年)」には、手賀沼周辺で 1983 年、1984 年、2001 年にマガンが、2006 年、2007 年にヒシクイが観察された事が書かれています。

世界では北米 300 万羽、欧州 200-300 万羽、アジアには 10 万羽飛来しますが大部分が日本に来ます。そのうち 7-8 割が伊豆沼周辺に集中し越冬します。更に伊豆沼のマガンの飛来状況を呉地正行さん(日本雁を保護する会会長)の「雁よ渡れ(2006 年どうぶつ社)」を読みますと 1971 年に雁の狩猟禁止、マガン、ヒシクイ、コクガン及び伊豆沼・内沼の鳥類が天然記念物に指定され、1972 年には雁の飛来数 3 千羽が、「日本雁を保護する会の里親制度」等により 1985 年には 1 万羽、1992 年には 2 万羽、1998 年より「冬みずたんぼ」が行われるようになり、2012 年には 10 万羽にまで増えていることがわかりました。

また稲敷市江戸崎の稲波干拓地にはオオヒシクイが 1985 年 34 羽(群れとして初飛来)が年々増加し 2013 年には 85 羽も飛来していること及び現在、霞ヶ浦、北浦等は渡り鳥の国際

条約ラムサール条約登録へ向けて条件整備中とのこと、シジュウカラガンについては日米共同の千島列島のエカルマ等での繁殖・放鳥により伊豆沼周辺 2008年 49羽が 2011年には 145羽と増えていること(会報 No.224 9頁参照)、またハクガンについても日米共同の繁殖計画が実施されている(多くは日本ではなく北米に渡る)こと、更に 2000-2001年マガンが菅生沼、多々良沼、渡良瀬、稲敷市、本埜、古徳沼等で数羽、観察されていることを考えると、今後手賀沼周辺にもマガン、ヒシクイ等が観察される機会もあるかもしれません。大型の鳥が 11月～5月に沼・川・田圃にいたら注意して観察してみようと思っています。手賀沼周辺では北新田は禁猟区ですが、我孫子市東部、柏市東部、印西市に広い農地が存在しますが、「冬水田んぼ」のような環境整備もなく、上記地区の我孫子市を除き多くが狩猟(銃)地区であるため、現状では飛来しても短期間の滞在で、長期間の越冬はしないと思われます。雁が越冬するためには安全な埜となる広くて浅い湖沼(手賀沼、手賀川)とその採食地となる広い田んぼ(禁猟区、冬水田んぼ等)が必要となります。

2012年 12月 2日蕪栗沼周辺の田で数千羽のマガンを観察していると、足環の他に青い首環(三英字)をつけているマガンを見つけました。何だろうと思い調べてみますと「日本雁を保護する会の里親制度」で日本から首環をロシアに持って行き、夏の換羽の時期に換羽地カムチャッカ半島でロシアの研究者につけてもらった首環のようです。つけたら出資した里親に首環の小さなレプリカが送られ、里親は里子の雁に愛称をつけることが出来、その後の消息等の連絡が手元に届くとのことでした。里親は里子に会うために、伊豆沼やウトナイ湖等を初めて訪れることもあるようです。

雁には手賀沼周辺ではなかなかお目にかかれませんが、各種ガンに会いたい方は東京に出られたついでに、上野動物園に寄ることをお勧めします。東園の五重塔の周りの池には、自然ではなかなかお目にかかれないシジュウカラガン、ミカドガン、サカツラガン、ハクガン、カリガネが、西園の不忍池にはマガン、カナダガン、ヒシクイ、オオヒシクイが放たれています。なおコクガンは銚子港で時折見られますが、2012年 11月より銚子沿岸の一部が鳥獣保護区に指定されましたので、ここでもカモメ類、クロガモ、シノリガモ等カモ類、クロサギ、カイツブリ類の観察と共に楽しみが増えそうです。シジュウカラガン、ヒシクイ、コクガンは絶滅危惧種に、マガン、カリガネは準絶滅危惧種に指定されています。ハクガン、サカツラガンは観察例が少ないため情報不足扱いとなっています。

なお、雁の生活(走行、歩行、遊泳、飛行、羽繕い、採食、鳴き声、家族内順位、家族間順位等)を知りたい時には、K.ローレンツの「ソロモンの指環(日高敏隆訳 1980年早川書房)7. ガンの子マルチナ」、「ハイイロガンの動物行動学(大川けい子訳 1996年平凡社)」が参考になると思います。

## 1月役員会報告

日時 1月 13日(日) 13:30～15:50

場所 水の館 3階研修室

1. H24年度の反省と H25年度に向けて  
次の様な意見が出されました。

- ・5月に開催される Enjoy 手賀沼について、多様な生物が生きる環境を取り戻すという原点に返った議論が必要ではないか。
- ・12月実施した我孫子市民フェスタにおいて、市民に紹介した鳥の写真と鳴き声をリンクさせた DVD が好評であった。こうした新たなツールの開発・活用も大事。
- ・各種行事に会員の多くの参加をはかるため、メーリングリストへの登録呼びかけやメールによるアンケート実施も必要ではないか。
- ・1月の探鳥会は中止となったが、一泊する行事案内は一カ月早く会報や ab-yacho で連絡

すること。

- ・公式と非公式の中間的な行事の企画も必要ではないか。例：平日の定例行事など。
  - ・事務局から次の4点の提案がなされ、異議なく了解されました。新入会員向けオリエンテーションの実施 会員向け勉強会の実施 一般向け「守る会の活動報告」の発行 HPの充実。
  - ・ab-yacho で HP の PR をする。
2. 会報 231 号掲載予定記事  
資料に基づき、検討のうえ決定しました。  
鳥類目録変更に伴う「確認された鳥リスト」の見直しについて、当面旧版ベース。
3. 第3四半期会計報告  
資料に基づき、検討の結果了承されました。  
会費未納者は7名、再督促状を送付予定。  
40周年記念事業の収支は予算110万円のところ実績約58万円の見込み。
4. 報告事項
- ・会報贈呈先の見直しをしました。
  - ・我孫子市民フェスタ2012の結果報告、2013は7/6(土),7(日)開催予定。
  - ・JBF運営会議の報告、2013は11/2(土),3(日)開催予定。
  - ・手賀沼水循環回復行動計画に手賀沼の鳥のデータと当会員の写真を提供。
  - ・柏土木作成の手賀沼流域ウォーキングマップに当会員の写真提供。
  - ・美手連勉強会(1/14 冬水たんぼ)、亀成川を愛する会(2/2 探鳥会)
  - ・手賀沼トラスト15周年シンポジウム(2/16)
  - ・ちばのWA! 企業・市民・NPOのマッチング会(1/29)
  - ・我孫子市民活動サポート委員会機関紙第26号で当会40周年記念誌紹介

## 鳥 だ よ り

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 11.21 [江蔵地] ビ <sup>1</sup> (1) 川の上空を飛ぶ<br>鈴木静治                      | る   | 鈴木静治 |
| 11.21 [千間橋] ㄥ <sup>1</sup> (1) 田の畔道より飛び立つ<br>鈴木静治                   | 11.26 [千間橋] ビ <sup>1</sup> (1) 田の杭にとまるが、飛んできたハ <sup>1</sup> ヅ <sup>1</sup> に威嚇される<br>鈴木静治 | 鈴木静治 |
| 11.21 [千間橋] ㄥ <sup>1</sup> (1) 川の中州、田を低空飛行<br>鈴木静治                  | 11.26 [千間橋] ハ <sup>1</sup> ヅ <sup>1</sup> (1) 川の葭原、田の上を低空で飛ぶ<br>鈴木静治                      | 鈴木静治 |
| 11.21 [千間橋] ビ <sup>1</sup> (1) 上空でㄥ <sup>1</sup> に追いかけられる<br>鈴木静治   | 11.26 [千間橋] ㄥ <sup>1</sup> (1) 橋にとまるが、ハ <sup>1</sup> ヅ <sup>1</sup> に絡まれる<br>鈴木静治         | 鈴木静治 |
| 11.21 [千間橋] ㄥ <sup>1</sup> (1) 農道上のとまる<br>鈴木静治                      | 11.26 [浅間前] ㄥ <sup>1</sup> (1) 農道の電柱にとまる<br>鈴木静治  | 鈴木静治 |
| 11.22 [北新田] ㄥ <sup>1</sup> (1) 電柱から飛去<br>中野久夫                       | 11.26 [北新田] ㄥ <sup>1</sup> (1) 電柱から飛去<br>中野久夫   | 鈴木静治 |
| 11.24 [光ヶ丘 広池学園] ヤマ <sup>1</sup> (1) 11:51、木の枝で餌を食べていた<br>飯泉仁・飯泉久美子 | 11.27 [発作] ㄥ <sup>1</sup> (1) 強風のため低空飛行<br>鈴木静治   | 鈴木静治 |
| 11.25 [千間橋] ㄥ <sup>1</sup> (1) 川の葭原、田を低空飛行<br>鈴木静治                  | 11.27 [下沼田] ㄥ <sup>1</sup> (1) 農道の隅の切られた木にとまる<br>鈴木静治                                     | 鈴木静治 |
| 11.25 [布瀬新田] ㄥ <sup>1</sup> (1) 鉄塔上部にとま                             | 11.27 [千間橋] ㄥ <sup>1</sup> (1) 中州、田の上を低空飛行<br>鈴木静治  | 鈴木静治 |

- 11.27 [千間橋] ヒ<sup>1</sup>(1) 川の上空を飛ぶ  
鈴木静治
- 11.27 [下沼田] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(1) 農道の電線  
にとまる 鈴木静治
- 11.27 [布佐平和台] ヒ<sup>1</sup>(1) 上空高く飛ぶ  
鈴木静治
- 11.27 [北新田] ノリ(2) 飛翔 中野久夫
- 11.28 [江蔵地] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(1) 農道脇の電  
柱より飛び出す 鈴木静治
- 11.28 [江蔵地] アリ(2) 川岸の灌木の繁み  
を移動 鈴木静治
- 11.28 [江蔵地] ノリ(1) ハソ<sup>1</sup> ソカ<sup>1</sup> ラスに上空  
で追われる 鈴木静治
- 11.28 [江蔵地] チュウ(1) 河原の叢の上を  
低空で通る 鈴木静治
- 11.29 [江蔵地] ヘ<sup>1</sup> ニシコ(1) 河原の灌木の  
繁みで動く 鈴木静治
- 11.29 [江蔵地] アリ(6) 河原の灌木にとま  
りて羽繕い 鈴木静治
- 11.29 [浅間前] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(1) 田の上を低  
空飛行 鈴木静治
- 11.29 [下沼田] ヒ<sup>2</sup>(2) 上空でカラスに絡  
まれる 鈴木静治
- 11.29 [布瀬] ノリ(2) 電柱にとまる  
鈴木静治
- 11.30 [北新田] オチカ(1) 越流堤横の樹上  
中野久夫
- 11.30 [北新田] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(2) 電柱から飛  
去 中野久夫
- 12.02 [北新田] オチカ(1) 越流堤横の樹上  
中野久夫
- 12.02 [北新田] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(1) 電柱から飛  
去 中野久夫
- 12.03 [布佐平和台] ヤガラ(1) 庭の餌<sup>1</sup> ナ  
ツを啜え飛ぶ 鈴木静治
- 12.03 [酒井根 6 丁目 下田の森] ヒ<sup>1</sup>(1)  
13:33 上空を北方向から出現し、東方向  
に渡去 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.04 [布佐平和台] ヤガラ(1) 庭の餌を啜  
える木の枝で食べる 鈴木静治
- 12.05 [北新田] ハブサ(1) 電柱上  
中野久夫
- 12.06 [中沼田] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(1) 電柱にとま  
る 鈴木静治
- 12.06 [岡発戸新田] ミカ<sup>1</sup>(1) 上空を飛ぶ  
鈴木静治・谷山晴男・蒲田知子・間野吉  
幸・金子雅幸・池田日出男
- 12.06 [岡発戸新田] ノリ(1) 斜面林上空で  
カラスに絡まれる 鈴木静治・谷山晴  
男・蒲田知子・間野吉幸・金子雅幸・池  
田日出男
- 12.07 [別所] ヘ<sup>1</sup> ニシコ(1) 丘の木にとまり  
地鳴き 鈴木静治
- 12.07 [別所] オトリ約 10 池岸の木の新  
みで動く 鈴木静治・大久保陸夫・中根忠
- 12.08 [布佐平和台] ヤガラ(1) 庭の餌<sup>1</sup> ナ  
ツを採る 鈴木静治
- 12.08 [中沼田] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(1) 田の上空を  
飛ぶ 鈴木静治
- 12.08 [上沼田] ノリ(1) 田の杭にとまる  
鈴木静治
- 12.09 [江蔵地] ヘ<sup>1</sup> ニシコ(1) 葎原の小さな  
木にとまり鳴く 鈴木静治
- 12.09 [江蔵地] チュウ(1) 葎原上空高く飛  
ぶ 鈴木静治
- 12.09 [手賀沼(杭の上)] ミカ<sup>2</sup>(2) 上沼 2  
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 12.09 [手賀沼辺] ノリ(4) 上沼 4  
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 12.09 [手賀沼] ミカ<sup>3</sup>(3) 上沼 2, 下沼 1  
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 12.10 [布佐平和台] ヤガラ(1) 庭の木にと  
まる 鈴木静治
- 12.10 [江蔵地] ミカ<sup>1</sup>(1) 川上に上空高く  
飛ぶ 鈴木静治
- 12.12 [都部新田] ミカ<sup>1</sup>(1) 沼より五本松  
公園上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.12 [片山新田] ミカ<sup>1</sup>(1) 沼の沖の杭に  
とまり大きな魚を食べる 鈴木静治
- 12.13 [北新田] オチカ(1) 越流堤横の樹上  
中野久夫
- 12.14 [北新田] オチカ(1) 越流堤横の樹上  
中野久夫
- 12.15 [北新田] ノリ(1) 電柱上 中野久夫
- 12.15 [北新田] フョウ<sup>1</sup> ヲウ(2) 電柱から飛  
去 中野久夫
- 12.16 [北新田] カサキ(1) 4 号排水路で  
中野久夫
- 12.16 [泉] マリ(2) 12:18、松の木に飛来  
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.16 [泉] カサキ(1) 12:27、ササの実を  
ついばんでいた 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.16 [片山新田先手賀沼] ミカ<sup>1</sup>(1) 13:04  
浅瀬の身を沈めて餌を捕獲

- 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.16 [片山新田先手賀沼] ミコアイサ(1)  
13:04、水面を移動(北西の風強く、水面は波立っていた) 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.16 [手賀新田] フウ(1) 14:16、我孫子市側の遊歩道上空を滑空  
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.17 [布佐平和台] ヤマガ(1) 庭に懸けた落花生を食べる 鈴木静治
- 12.17 [北新田] オウガ(1) 越流堤横の樹上  
中野久夫
- 12.18 [北新田] オウガ(1) 越流堤横の樹上  
中野久夫
- 12.19 [下沼田] ノリ(1) 田の上を低空で飛び杭にとまる 鈴木静治
- 12.19 [布佐平和台] ヤマガ(1) 庭の餌を食べる 鈴木静治
- 12.20 [布佐平和台] ヤマガ(1) 庭の餌を食べにくる 鈴木静治
- 12.20 [都] ノリ(1) 上空でハシヅガ(1)に絡まれる 鈴木静治
- 12.20 [北新田] ノリ(1) 飛翔 中野久夫
- 12.20 [北新田] フウ(1) 飛翔 中野久夫
- 12.20 [北新田] クサヅ(1) 4号排水路で  
中野久夫
- 12.21 [布佐平和台] ヤマガ(1) 庭の餌を食べにくる 鈴木静治
- 12.23 [光ヶ丘 広池学園] ヤマガ(1) 9:32、ヤマガの木と地面を行ったり来たりを繰り返す 飯泉仁
- 12.23 [光ヶ丘 広池学園] ヤマガ(1) 10:07、鳴きながら移動 飯泉仁
- 12.23 [酒井根 6丁目 下田の森] ハシヅガ(1) 12:09、上空を南方向から出現し、北方向に渡去 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.25 [下沼田] ノリ(1) 鉄塔下部にとまる 鈴木静治
- 12.25 [中沼田] ミヅク(1) 二番穂の水田上を低空で飛ぶ 鈴木静治
- 12.26 [中沼田] ミヅク(1) 二番穂の田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 12.26 [千間橋] ミヅク(1) 上空高く飛び布瀬方面に去る 鈴木静治
- 12.26 [別所] オト(1) 約70池岸の繁みで休み、時々群れで泳ぐ 鈴木静治・松本勝英・小玉文夫・猪爪敏夫
- 12.27 [江蔵地] フウ(2) 川岸の草藪の間を動く 鈴木静治
- 12.27 [江蔵地] ヤマガ(1) 葦原の柳にとまる 鈴木静治
- 12.27 [千間橋] ミヅク(3) 夕日の田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 12.28 [江蔵地] ヤマガ(1) 川岸の柳の幹に穴をあける 鈴木静治
- 12.28 [江蔵地] ハシヅガ(2) 叢の低木にとまる 鈴木静治
- 12.29 [千間橋] ノリ(1) 川の上空を悠々と飛ぶ 鈴木静治
- 12.29 [千間橋] ヤマガ(1) 上空を飛び鉄塔上部にとまる 鈴木静治
- 12.29 [千間橋] フウ(1) 川の中州上を低空飛行 鈴木静治
- 12.29 [浅間前] フウ(1) ハシヅガ(1) 2羽が飛んで来ると電柱より飛び立つ 鈴木静治
- 12.29 [北新田] ノリ(1) 飛翔 中野久夫
- 12.29 [北新田] クサヅ(1) 4号排水路で  
中野久夫
- 12.31 [北新田] クサヅ(1) 4号排水路で  
中野久夫
- 1.01 [酒井根 6丁目 下田の森] ノリ(1) 10:27、ハシヅガ(1) 3羽に追尾されながら出現し、南南東方向に渡去 飯泉仁
- 1.01 [発作] フウ(1) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 1.01 [千間橋] フウ(1) 川の中州、二番穂の田を低空で飛ぶ 鈴木静治
- 1.01 [千間橋] ノリ(1) 電柱上にとまる 鈴木静治
- 1.01 [北新田] オウガ(1) 電柱上 中野久夫
- 1.01 [北新田] ノリ(1) フウ(1)に絡まれる 中野久夫
- 1.01 [北新田] フウ(1) ノリに絡む 中野久夫
- 1.03 [酒井根 6丁目 下田の森] ヤマガ(1) 10:33、鳴きながら木の枝に飛来 飯泉仁
- 1.04 [北新田] クサヅ(1) 4号排水路で  
中野久夫
- 1.05 [酒井根 6丁目 下田の森] ヤマガ(1) 9:18、柳の木に鳴きながら飛来 飯泉仁
- 1.05 [酒井根 6丁目 下田の森] オウガ(1) 10:01、東方向から出現し、上空を巡回後北側に渡去 飯泉仁

- 1.06 [岡発戸谷津] ヲニマシ(4) 低木の中心野久夫  
( ) セイカワタ 羽の実を採食( 2)  
桑森亮
- 1.06 [片山新田先手賀沼] ヒ(1) 13:06、  
晴れ、気温 3 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.06 [片山新田先手賀沼] ヲニマシ(2) 13:42、  
葦原の中を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.06 [片山新田先手賀沼] ハイロチュウ(1)  
13:50、葦原上空を滑空  
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.06 [片山新田先手賀沼] 材効(1) 14:00、  
葦原の中を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.07 [布瀬新田] ノリ(1) 飛んで来て鉄塔  
にとまる 鈴木静治
- 1.07 [相島] ヲウゲンボウ(1) 田の杭にとま  
る 鈴木静治
- 1.07 [千間橋] ヲウゲンボウ(1) 停飛、飛翔を  
繰り返し鉄塔にとまる 鈴木静治
- 1.07 [浅間前] ノリ(1) 電柱にとまる  
鈴木静治
- 1.07 [北新田] ヒ(6) 畔上 中野久夫
- 1.09 [都部] ヤマガラ(6) 灌木の繁みで木の  
実を突く 鈴木静治
- 1.10 [北新田] ノリ(1) 飛翔 中野久夫
- 1.10 [岡発戸新田] アスイ(1) 葦原の柳の木  
の枝にとまる 鈴木静治・谷山晴男・  
蒲田知子・間野吉幸・金子雅幸・池田日出男
- 1.11 [光ヶ丘 広池学園] アガラ(1) 10:05、  
鳴きながら移動 飯泉仁
- 1.11 [発作] チュウ(1) 川の葦原・田を低空  
で飛ぶ 鈴木静治
- 1.11 [発作] ヒ(1) 川・田の上空を飛ぶ  
鈴木静治
- 1.11 [発作] ノリ(1) 林の上を飛ぶ  
鈴木静治
- 1.11 [千間橋] ヒ(1) 田で獲物を採食  
鈴木静治
- 1.11 [浅間前] ヲウゲンボウ(1) 田の上空でハ  
シボウガラに絡まれる 鈴木静治
- 1.12 [千間橋] コミズク(1) 杭にとまるノリ  
を威嚇する 鈴木静治
- 1.12 [千間橋] ノリ(1) 低空飛翔するコミズ  
クより攻撃される 鈴木静治
- 1.12 [千間橋] コミズク(1) ハシボウガラに攻  
撃されカスと共に上空高く舞い上がる  
鈴木静治
- 1.13 [北新田] 材効(1) 2号排水路横柳上
- 1.13 [手賀沼] ミサゴ(2) 上沼1, 下沼1  
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 1.16 [浅間前] ノリ(1) 農道の電柱にとま  
る 鈴木静治
- 1.16 [千間橋] コミズク(1) 残雪、二番穂の  
田の上をカスと争いながら飛び餌探し  
鈴木静治
- 1.17 [布瀬新田] ノリ(1) 鉄塔下部側面に  
とまる 鈴木静治
- 1.17 [北新田] ヲウゲンボウ(2) 電柱上と樹  
上 中野久夫
- 1.19 [岡発戸谷津] ヲニマシ(5) 低木を移動  
雪の中で草の実を採食 桑森亮
- 1.19 [岡発戸谷津] トビ(1) 旋廻飛翔  
桑森亮
- 1.19 [湖北台] ヒ(1) 住宅上空を飛ぶ  
鈴木静治
- 1.19 [酒井根 6丁目 下田の森] トビ(2) 13:52、  
低木の鳴きながら移動  
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.19 [酒井根 6丁目 下田の森] アガラ(1)  
15:10、鳴きながら移動  
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.20 [江蔵地] ヲニマシ(4) 叢で草の実をと  
り、木の枝で食べる 鈴木静治
- 1.20 [江蔵地] ノリ(1) 川岸の大きな柳に  
とまる 鈴木静治
- 1.20 [手賀新田] ヒ(1) 上空で風に乗り  
ながら飛ぶ 鈴木静治
- 1.20 [中沼田] ノリ(1) 田の杭にとまる  
鈴木静治
- 1.20 [下沼田] ヲウゲンボウ(1) 夕暮れの田  
の上で停飛 鈴木静治
- 1.20 [北新田] クサシギ(1) 金谷水門で  
中野久夫

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカゲラ、アカハラ、ア  
ジサシ、アトリ、アリスイ、イソシギ、イソ  
ヒヨドリ、ウグイス、ウソ、エナガ、オオジ  
ュリン、オオタカ、オオバン、オカヨシガモ、  
オシドリ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、  
カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、  
カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キクイタ  
ダキ、キジ、キジバト、キセキレイ、キンク  
ロハジロ、クイナ、クサシギ、コイカル、ゴ

イサギ、コガモ、コクマルガラス、コゲラ、コサギ、コブハクチョウ、コミミズク、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、トビ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒガラ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、マヒワ、ミコアイサ、ミサゴ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ、ルリビタキ	今回の投稿者の総投稿件数	
	飯泉仁	527
	飯泉仁・飯泉久美子	360
	飯泉久美子	11
	桑森亮	26
	鈴木静治	573
	鈴木静治・松本勝英	
	・小玉文夫・猪爪敏夫	8
	鈴木静治・大久保陸夫・中根忠	14
	鈴木静治・谷山晴男・蒲田知子	
	・間野吉幸・金子雅幸・池田日出男	28
	鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫	
	・間野吉幸・金子雅幸・池田日出男	25
	染谷迪夫・木村稔・田中功	56
	橋本了次	2
	平岡孝	27
	中野久夫	59
	中根忠	4
	松田幸保	6
	<hr/>	
	総計	1726
		(浅井久)

計 88 種

<番外種>

アヒル、カワラバト、コジュケイ、バリケン

### 平成 25 年度会費納入のお願い

平成 25 年度の会費納入の時期が来ました。郵便局の振込用紙を同封しましたので、4 月末までに払い込みをお願いします。なお、例会、総会等で会計に直接お支払頂く場合は振込用紙を破棄してください。

年会費 2,000 円（大学・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員無料）

#### 【ご寄付】

類地佑子さんよりご寄付を頂きました。

厚くお礼申し上げます。

### ほーほーどり No. 231 (2013 年 3 ~ 4 月号)

発行 2013 年 3 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務所 270-1154 我孫子市白山 3-8-16-104 間野方

連絡先 277-0005 柏市柏 1001-5 野口隆也 Tel 04-7163-7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）